

就労継続支援A型事業所タノシカ クリエイティブ諏訪野町を紹介します！

TANOSHIKA TIMES

CREATING A WORLD WITHOUT DIFFICULTY IN LIVING AND WORKING

生きづらさを感じづらさない世の中を創る。就労継続支援A型事業所タノシカの広報誌

特集

クリエイティブ 諏訪野町



インタビュー

責任者の今村さん&所長の脇田さん&デザインメンバー

制作実績紹介

デザイン/ライティング/データ入力
暗闇を照らすメディア「AKARI」について

諏訪野町について
語る 嘉村社長の
動画はこちら →



Vol.5
2023 SUMMER
TAKE FREE

some attractions!!



メンバーさんの目標達成の瞬間に立ち会えるのが大きな喜びです。

CREATIVE 諏訪野町 サービス管理責任者 今村 康 YASUSHI IMAMURA



TANOSHIKA

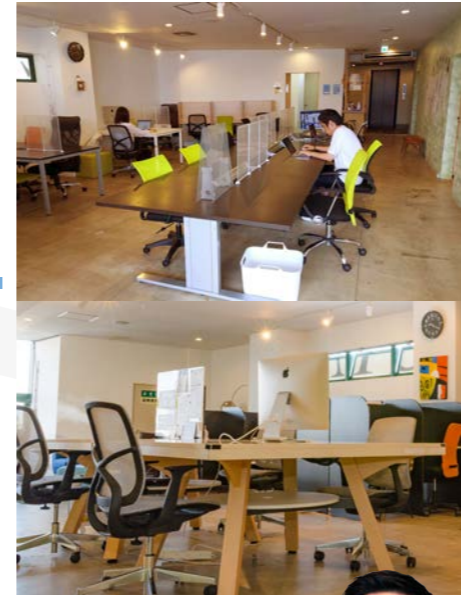
CREATIVE 諏訪野町

サービス管理責任者

Interview

諏訪野町所長

- Q 諏訪野町のサービス管理責任者として働いてどれくらい経ちますか？
- A 諏訪野がオープンしてからなので5年目になります。元々は福祉とは関係のない現場監督や営業の仕事をやってきました。そこから福祉の勉強をして支援員さんをやりながらサビ管の資格をとってやり始めたという形になります。
- Q お仕事をするにあたって気を付けていることはなんですか？
- A 話し方・伝え方が一番気を付けているところではあります。伝え方によって、違う風に受け取られたりすることもあるので、やっぱりそこは気を付けているところではあります。
- Q メンバーとの特に印象に残っている思い出等ありますか？
- A 一般就労に旅立っていった人たちのことかな。元々一般就労で苦労されてここにいられているという方もいるので、そこから一般就労にいかれたって考えると、やっぱりちょっと感慨深いところがありますよね。



Special Movie

嘉村社長が諏訪野町について語っています！

代表取締役社長 嘉村 裕太

- Q TANOSHIKAに入ることになった経緯を教えてくださいませんか？
- A 私は、ずっと保育士として働いていました。そこではいろんな障がいを持った子達がいて、さまざまな支援を行っていたのですが、この子達が今後どのように成長していくのか見たかったのでこの仕事を選びました。
- Q メンバーさんが卒業するために意識していることはなんですか？
- A 自分の可能性に気づいていらない方たちがたくさんいると思っています。今までの職歴や経験の情報だけに頼らず会話・事業所内での仕事の様子から常に選択肢の可能性を探しています。
- Q 支援員さん同士お互いどのように意識して働いていますか？
- A お互いフォローし合う事ですね。フォローをし合えないとチームとしては成り立たない。同じ仕事はできないと思っています。うちの諏訪野の支援員さんのチーム力はナンバーワンなんです。お互いのことを考えて仕事をしてくださっています。

Welcome!!



楽しんで仕事しよう。笑顔で仕事しよう。モチベーションが大事。

CREATIVE 諏訪野町 所長 CHISATO WAKITA 脇田 千里



せっかくやるなら「楽しく新しい」ことを。何かをつくることを仕事にしてみませんか？自分がつくったものが誰かに使われる。それはとってもドキドキ・ワクワクすることです。TANOSHIKA CREATIVEではデザイン・プログラミング・ライティングなど、専門性の高い業務に取り組んでいます。それぞれの分野を生かして一つのプロジェクトに取り組み、チームワークを発揮。デザインやプログラミングのプロジェクトだけではなく、あなたのこれからを一緒に創造しましょう！

time schedule

諏訪野町の1日の流れをご紹介します！

- 10:00 朝礼
- 10:10 業務
- 12:00 昼休憩
- 13:00 業務
- 15:20 終礼
- 15:30 退勤

Works & Member Interview

デザイン Design



- Q 30代男性 Mさん
- Q 30代男性 Mさん
- A 実際のクライアント案件やクラウドソーシングの仕事をしています。いろんなジャンルのデザインを手がけてますが、特にHPやLPといったWEB媒体の物を得意としています。
- Q TANOSHIKAの魅力って？
- A 仕事を楽しむのはもちろん、支援員さんもメンバーさんもみんな優しく、いつも支えられています。お絵描きやスポーツなどの課外活動もあり活気が溢れています。

ライティング Writing

- Q 20代女性 Tさん
- Q 20代女性 Tさん
- A 事業所で運営しているWebメディア『AKARI』への記事執筆・投稿作業、ブログサービス『note』でエッセイを書いたり、外部の企業様から依頼されたWebの記事執筆、電子書籍として販売する絵本・詩の制作などを行っています。

データ入力 Data Work

- Q 30代男性 Kさん
- Q 30代男性 Kさん
- A マクロジという楽天やYahoo!などのネットショップの運用をしている企業様からいただいているお仕事で、商品のタグ付けなどの主に楽天の商品の情報をよりユーザーに見つけてもらいやすくなるよう編集する作業を行っています。

心に光を灯すメディア

AKARI MEDIA

Powered by TANOSHIKA

暗闇を照らすメディア“AKARI” AKARIは生きていく上で「社会」や「自分自身」に何らかの障がいを感じている方の手助けになる情報を発信し、共有するサイトです。AKARIの記事は、障がいの当事者や支援者によって書かれています。生きづらさ働きづらさを抱える人の心の支えになることを目指しています。現在月間1万PVを2年半以上継続中です。

えほんでひろがる、つたえる

絵本プロジェクト

こちらのプロジェクトは、AKARIのコンセプトを絵本の形で届けていく企画です。ライターが書いた自身の体験などに基づくストーリーにデザイナーが絵を付けることで制作しました。



就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA FARM

(たのしか・ふぁーむ)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町
845-5

☎ 0942-38-2655

☎ 0942-80-0180 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 諏訪野町

(たのしか・くりえいていぶ・すわのまち)

〒830-0037

福岡県久留米市諏訪野町1-22
ワカナセントラルプレイス 5F

☎ 0942-80-6216

☎ 0942-80-6217 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA PLUS

(たのしか・ぷらす)

〒839-0863

福岡県久留米市国分町1466-3
森ビル一階東号室

☎ 0942-27-5823

☎ 0942-27-5824 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 東町

(たのしか・くりえいていぶ・ひがしまち)

〒830-0032

福岡県久留米市東町25-3
プラザビル2F

☎ 0942-65-6842

☎ 0942-65-6843 (FAX)

相談支援事業

TANOSHIKA SUPPORT

(たのしか・さぽーと)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル1 2F

☎ 0942-27-6063

☎ 0942-27-6167 (FAX)

本部業務

TANOSHIKA HOME

(たのしか・ほーむ)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル1 2F

☎ 0942-27-6163

☎ 0942-27-6167 (FAX)



CHECK

公式サイトやSNSで最新の情報を発信しています! ぜひチェックしてみてください!


 WEB


 LINE


 Twitter


 Facebook


 Instagram

本広報誌(TANOSHIKA TIMES)は TANOSHIKA CREATIVE利用者がデザインを担当しております。



TANOSHIKA CREATIVE
デザイナー Mさん & Kさん